

NPO／特定非営利活動法人

放送批評懇談会

第 11 回通常総会議事録

第一号議案 議長の選任

第二号議案 放送批評懇談会 2014 年度事業報告

第三号議案 放送批評懇談会 2014 年度決算

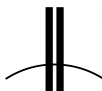
第四号議案 放送批評懇談会 2015 年度事業計画

第五号議案 放送批評懇談会 2015 年度予算

第六号議案 放送批評懇談会 定款変更

放送批評懇談会

2015年6月21日



NPO放送批評懇談会

第11回通常総会 2015

特定非営利活動法人放送批評懇談会

<第11回通常総会>

■開催日 2015年6月21日

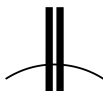
■会 場 TKP新宿カンファレンスセンター
カンファレンスルーム 6B

■会 勢 <正会員>
196名 (入会14名、退会10名)
<維持会員>
139社 (入会1社、退会2社)

■出席者 27名
飯田みか 市村 元 入江たのし 音 好宏
茅原良平 川喜田 尚 隈部紀生 上滝徹也
小林 毅 坂本 衛 桜井聖子 嶋田親一
鈴木嘉一 滝野俊一 田中典子 中島好登
永須智之 丹羽美之 信井文夫 橋本 隆
稗田政憲 藤田真文 藤久ミネ 堀木卓也
水島宏明 三原 治 山家誠一

■委任状提出者 106名

■出席予定者と委任状提出者で計133名



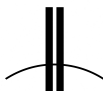
第一号議案 議長の選任

定款第27条「総会の議長は、その総会に出席した正会員の中から選出する」の規定に則り、出席の正会員のなかから、「山家誠一氏」を合議により選出。

第二号議案

放送批評懇談会

2014 年度事業報告



2014年度総務事業報告

1. 志賀信夫賞

第6回志賀信夫賞の選考を行いました。正会員による候補者推薦を受け、選考委員会で選考を行い、放送評論家の松尾羊一さんを選出。6月2日、第52回ギャラクシー賞贈賞式で賞状と盾をお贈りしました。

選考委員会：音 好宏（委員長） 橋本 隆 藤田真文
川喜田尚 飯田みか 丹羽美之

2. 放送批評懇談会パンフレット

会の活動、歴史などをコンパクトにまとめて紹介するパンフレットを作成しました。

3. ギャラクシー賞トロフィーレプリカ

トロフィー「バードマン」のレプリカを作成、頒布のシステムを構築しました。

4. 松永デザイン事務所との覚書締結

『バードマン』の権利・利用に関する確認書を、2014年10月10日、松永真デザイン事務所との間で取り交わしました。

5. 第14回「日韓中テレビ制作者フォーラム横浜大会」

2014年9月15日～18日、横浜シンポジアホールで開催された第14回大会「日韓中テレビ制作者フォーラム in 横浜」を共催しました。

6. NHK BSプレミアム「ザ・ベストテレビ2014」

2014年9月28日（日）、29日（月）。第51回ギャラクシー賞テレビ部門の優秀賞・選奨受賞のドキュメンタリー番組がダイジェストで紹介されました。

7. NHKラジオ「ザ・ベストラジオ2014」

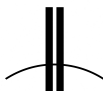
2014年9月27日（土）、10月5日（日）、12日（日）放



送。ギャラクシー賞受賞のエフエム東京「これからを見つめて ～ LOVE&HOPE 3年目の春だより～」(51回大賞)、毎日放送 MBS 報道特別番組「原発作業員が語る2年」(50回優秀賞)、北日本放送「In My Life～介護の仕事とビートルズと～」(51回選奨)が放送されました。

8. テレビ朝日「はい！テレビ朝日です」

「はい！テレビ朝日です」ギャラクシー賞取材に協力しました。
2015年6月14日（日）放送の番組で、第52回の贈賞式の模様、ギャラクシー賞の歴史が紹介されました。



2014年度出版編集事業報告

1. 昨年度は下記のメンバーで運営しました（敬称略）。

委員長 飯田みか
副委員長 水島宏明 内藤圭介（2015年1月号より）
委員 氏家夏彦 木村幹夫 隈元信一 鈴木健司
田川義博 仲宇佐ゆり 西川博泰 藤田高弘
編集スタッフ 中島好登 福島美子 古賀佳子
山本夏生（2015年7月号より）

2. 毎月6日に『GALAC』を発行しました（発行部数は3400～4300部の間で推移）。

- 1) 特集テーマは以下のとおりです。

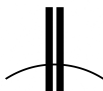
2014年10月号	いつでも！どこでも！ 急増する「シフト型」TV視聴
2014年11月号	クラウドファンディングは救世主？
2014年12月号	ドワンゴの奇策、日テレの秘策／ 頻発する自然災害 TV局の対応
2015年1月号	第52回〔上期〕ギャラクシー賞／ 追悼 大山勝美
2015年2月号	4Kは放送の未来を拓くか？
2015年3月号	コメンテーター次第で番組は変わる！
2015年4月号	ラジオはU-30をつかめ！
2015年5月号	テレビイノベーションは大阪から始まる
2015年6月号	後藤健二さんの死がテレビに遺したもの
2015年7月号	決定！第52回ギャラクシー賞
2015年8月号	続報！第52回ギャラクシー賞
2015年9月号	テレビ広告の“バブル”到来!?（仮題）

- 2) インターネットのニュースサイト「goo ニュース」と「@nifty ニュース」に一部連載記事を配信してきたのに加え、2015年5月号で「東洋経済online」にも一部特集記事の配信を開始しました。



- 3) 販売促進のために、KADOKAWA の協力で東京キー局周辺の書店にPOP も使って2015年3月号～5月号を多めに配本しましたが苦戦しました。
- 4) 販売促進のために、富士山マガジンサービスで2015年4月号～6月号、定期購読の初回3回半額キャンペーンをおこない、新規定期購読者22名を獲得しました。
- 5) 4月号で、選奨委員会のページのデザインをリニューアルしました。連載ページの一部入れ替えを4月号と9月号（予定）でおこないました。

*2013年度の報告で、委員に吉川邦夫氏が抜けていました。お詫びして訂正いたします。



2014年度選奨表彰事業報告

1. 本年度は下記の委員の構成で運営しました。

選奨事業委員長 藤久ミネ

＜テレビ部門委員会＞

委員長 丹羽美之

副委員長 古川柳子

委員 出田幸彦 岩根彰子 太田省一 岡田芳枝
岡室美奈子 河野尚行 滝野俊一 藤久ミネ
水島宏明 宮崎美紀子

＜ラジオ部門委員会＞

委員長 橋本 隆

副委員長 茅原良平

委員 池本孝慈 鵜飼一嘉 五井千鶴子 末田倫子
永須智之 中村亮平 松浦正和 松本しのぶ
三原 治 山本 索

＜CM部門委員会＞

委員長 稗田政憲

副委員長 碓井広義

委員 秋吉淳一郎 小川幸子 草川 衛 汲田亜紀子
千葉健吉 服部千恵子 桧山珠美 山家誠一
横川紀子 吉江一男 若尾一彦

＜報道活動部門委員会＞

委員長 鈴木嘉一

副委員長 山田健太

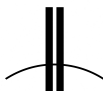
委員 稲塚秀孝 岩崎信道 小原道雄 河邑厚德
田中早苗 谷岡理香 旗本浩二 福島俊彦
矢後政典 横山隆晴

選奨事業委員会担当事務局 福島美子

2. 第52回ギャラクシー賞各部門の選考のため、以下の作業を行いました。

＜テレビ部門委員会＞

- ・2014年4月から2015年3月まで、毎月選考会を開き月間



賞4本を選びました。選考結果を『GALAC』誌上に月間賞選評および番組短評一覧として発表しました。毎月20日を情報解禁日とし、月間賞の選考結果をプレスリリースしました。

・2014年9月11日～30日、10月11日～21日に第52回上期自薦作品125本を視聴。10月30日、月間賞（23本）と自薦作品の中から上期入賞作品7本を選出しました。

・2015年3月12日～27日、4月10日～16日に、第52回下期自薦作品161本を視聴。4月26日、月間賞（23本）と自薦作品の中から下期入賞作品7本を選出しました。同時に特別賞、個人賞も選びました。

・2014年7月11日、東京大学本郷キャンパスで、ギャラクシー賞入賞作（「ニッポンの性教育」中京テレビ）の上映会を、東京大学情報学環丹羽研究室との共催により開催しました。

<ラジオ部門委員会>

・2014年4月から2015年3月まで、毎月ラジオ委員会を開催してラジオについての合評を行いました。

・2014年10月、第52回上期37本の自薦作品を聴取し、10月20、24日に各部門の上期候補作品を選出。

・2015年4月、下期35本の自薦作品を聴取し、4月15、16日に各部門の下期候補作品を選出。

・4月21日、上期下期をあわせた候補作品の中から入賞作8本を選出し、DJパーソナリティ賞も選出しました。

・2014年9月28日にTOKYO FMレセプションルーム、11月8日にTBSセミナー室で「入賞作品を聴いて、語り合う会」を開催しました。

<CM部門委員会>

・2014年4月から2015年3月まで、毎月委員会を開催してCMについての合評を行いました。

・2014年10月29日、上期138本の自薦作品を視聴し、13本の候補作品を選出。

・2015年4月22日、下期130本の自薦作品を視聴し、13本の候補作品を選出。

上期下期合わせた中から13本の入賞作品を選出しました。



＜報道活動部門委員会＞

・2014年11月1日、上期13本の自薦作を視聴・聴取し、4本の候補作を選出。

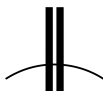
・2015年4月25日、下期18本の自薦作を視聴・聴取し、6本の候補作を選出。

上期下期合わせた中から6本の入賞作を選出しました。

・『GALAC』連載ページを委員が分担し、全国各地における報道活動の紹介、各局報道活動への期待、特定のテーマに関する報道活動についての論考などを執筆しました。

・2014年11月30日、公開シンポジウム「ギャラクシー賞受賞報道活動を見て、制作者と語る会」第7回を、NHK放送博物館との共催で実施しました。

3. 2015年6月2日（火曜日）、ウェスティンホテル東京ギャラクシールームにて「第52回ギャラクシー賞贈賞式・懇親会」を開催しました。なお、実行プロジェクトメンバーは入江たのし理事、中島好登事務局長を中心に編成しました。出席者は報道陣、スタッフも含めて、約625名でした。



2014年度企画開催事業報告

1. 2014年度の企画事業委員会は、下記の委員で構成しました。

委員長 川喜田 尚

副委員長 桜井聖子

委員 入江たのし 奥 律哉 堀木卓也 元橋圭哉

柳川素子

2. 2015年2月17日(火)、海運クラブ 2階ホールで放送批評懇談会シンポジウム2015「キュレーションの時代と放送メディア」を開催しました。このシンポジウムでは、「キュレーション＝情報の海の中から必要なものを選び、整理し、分析して新しい価値を生み出す」というデジタル社会のなかで注目される概念に、放送メディアの本来の機能を照らして考えてみようという趣旨で企画、パネル討論とシンポジウムの2部構成としました。

第1部パネル討論「先進企業に学ぶメディア戦略」

登壇者：(株) エアウィーヴ代表取締役会長 高岡本州氏

(株) ふくや代表取締役社長 川原正孝氏

モデレーター：八塩圭子氏

・高反発寝具をわずか7年で認知度60%の高級ブランドに成長させたエアウィーヴ。一方、明太子という新しい食文化を拓き、地元企業のリーダー的存在となったふくや。好対照だが共通点は、“高品質”、つまり本物であることから帰結するブランド力。その構築に放送メディアの存在が再認識されました。

第2部シンポジウム「磨け！キュレーションパワー」

登壇者：電通総研 奥律哉氏

元NHKのSNS発信の先駆者、浅生鴨氏

ニュースピックス編集長 佐々木紀彦氏

モデレーター&コメンテーター 荻上チキ氏

・放送がネット情報をどうキュレーションするかという視点と、放送コンテンツがネットによってどうキュレーションされ、そ

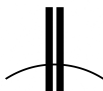


NPO放送批評懇談会

第11回通常総会 2015

れがまた放送メディアにどう影響するかという視点で意見が交わされました。

115名の参加者があり、内容はたいへん好評で多くの反響をいただきましたが、多くの登壇者とそれにもなう機材費などが嵩み、約24万円の赤字となりました。



NPO放送批評懇談会

第11回通常総会 2015

2014年度マイベストTV賞

プロジェクト事業報告

1. 以下のメンバーで運営しました。
プロジェクトリーダー 滝野俊一
メンバー 石橋さや夏 中平良磨 永田俊和
西川博泰 桧山珠美
事務局 中島好登
2. Web会員の登録者は11,512名(2015年6月14日現在)。女性が10,798名と94%を占めています。
3. 第9回「マイベストTV賞グランプリ」が決定しました。
Web会員10,883名に放送批評懇談会の正会員196名が加わり、グランプリの投票にあたりました。
グランプリは、2014年4月度から2015年3月度まで投票によって毎月決められたノミネート作36本の中から、最大5本までを投票するという方法で決められ、634票を獲得した「金曜ナイトドラマ『死神くん』(テレビ朝日)」が栄誉に輝きました。
4. 「マイベストTV君」のアカウントでツイッターを運用し、投票の告知などを行いました。フォロワー数は229名(2015年6月15日現在)です。

第三号議案

放送批評懇談会

2014 年度決算

収 支 計 算 書

2014年4月1日～2015年3月31日まで（単位：円）

科目	予算額	決算額	差異
I. 収入の部			
1. 会費等収入			
会費収入	2,850,000	3,198,453	△ 348,453
維持会費収入	42,000,000	42,025,000	△ 25,000
2. 事業収入			
選奨表彰事業収入	30,300,000	30,048,260	251,740
企画開催事業収入	2,500,000	1,681,000	819,000
周年事業収入		100,000	△ 100,000
3. その他の収入			
出版編集事業収入	4,800,000	3,567,584	1,232,416
広告料収入	5,000,000	5,236,400	△ 236,400
4. 雑収入			
資産売却収入		4,865	△ 4,865
受取利息	0	186,833	△ 186,833
当期収入合計	87,450,000	86,048,395	1,401,605
II. 支出の部			
1. 事業費			
選奨費	6,600,000	7,922,671	△ 1,322,671
式典費	11,500,000	10,163,514	1,336,486
企画開催費	2,000,000	2,035,691	△ 35,691
原稿料	7,000,000	6,580,973	419,027
編集費	4,900,000	5,084,465	△ 184,465
雑誌印刷費	17,300,000	16,729,524	570,476
発送費	1,740,000	1,686,118	53,882
2. 管理費			
給料手当	14,400,000	14,341,800	58,200
人件費	6,400,000	5,343,937	1,056,063
法定福利費	2,100,000	2,272,243	△ 172,243
福利厚生費	220,000	109,770	110,230
旅費交通費	740,000	829,721	△ 89,721
通信費	880,000	783,731	96,269
資料費	850,000	845,640	4,360
会議費	280,000	341,261	△ 61,261
水道光熱費	400,000	347,724	52,276
事務用品費	110,000	89,775	20,225
消耗品費	400,000	365,831	34,169
備品費	500,000	455,977	44,023
諸印刷費	800,000	222,345	577,655
広報費	1,000,000	1,211,882	△ 211,882
支払手数料	210,000	199,301	10,699
賃借料	4,100,000	3,999,273	100,727
保険料	500,000	489,700	10,300
交際費	130,000	177,588	△ 47,588
雑費	1,000,000	875,970	124,030
諸会費	150,000	139,644	10,356
租税公課	90,000	74,000	16,000
退職給付引当金繰入	1,000,000	1,000,000	0
予備費	150,000	0	150,000
当期支出合計	87,450,000	84,720,069	2,729,931
当期収支差額	0	1,328,326	△ 1,328,326

貸 借 対 照 表
2015年3月31日現在(単位:円)

科目	金 額		
I. 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	36,551,846		
未収入金	3,219,900		
所有物	286,625		
流動資産合計		40,058,371	
2. 固定資産			
賃借権利金等	32,241		
差入保証金	4,099,500		
特定資産			
志賀基金	68,218,232		
退職給付引当金	23,104,068		
固定資産合計		95,454,041	
資産合計			135,512,412
II. 負債の部			
未払金	7,136,150		
前受金	2,340,000		
預り金	282,841		
退職給付引当金	23,104,068		
負債合計			32,863,059
III. 正味財産の部			
志賀基金	100,000,000		
その他の正味財産	2,649,353		
正味財産合計			102,649,353
(うち基本金)			0
(うち当期正味財産増加)			1,328,326
負債及び正味財産合計			135,512,412

正味財産増減計算書

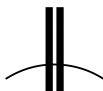
2014年4月1日～2015年3月31日まで (単位:円)

科目	金 額		
I. 増加の部			
1. 資産増加額			
現金預金増加額	1,593,246		
特定資産増加額	1,179,778		
2. 負債減少額			
未払金減少額	6,225		
預り金減少額	96,738		
増加額合計		2,875,987	
II. 減少の部			
1. 資産減少額			
未収入金減少額	237,200		
前払金減少額	31,500		
賃借権利金減少額	128,961		
2. 負債増加額			
前受金増加額	150,000		
退職給付引当金増加額	1,000,000		
減少額合計		1,547,661	
当期正味財産増加額			1,328,326
前期繰越正味財産額			101,321,027
期末正味財産額			102,649,353

第四号議案

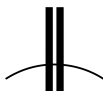
放送批評懇談会

2015 年度事業計画



2015年度総務事業計画

1. 志賀信夫賞
第7回の選考、表彰を行います。
2. 正会員の加入促進
正会員の加入促進に努めます。正会員の増員によって会の基盤を強め、より多彩な活動を支えます。
3. 維持会員の加入促進
維持会員の増員によって会の財政基盤を強めることを目指します。
4. 広報の強化
ホームページの拡充に努めます。その他、放送批評懇談会のイメージアップのため、広報活動を行います。
5. ギャラクシー賞データベース
「ギャラクシー賞データベース」の管理運営に当たります。
6. ギャラクシー賞エントリーシステムの電子化
ギャラクシー賞への参加手続きを電子化する準備を進めます。
7. マイベストTV賞
マイベストTV賞プロジェクトに協力して、賞の管理運営に当たります。第11回に予定するマイベストTV賞刷新を推進します。
8. 準会員（仮称）制度の導入
正会員とは異なる新たなメンバー制度の導入を検討して推進します。
9. 第15回「日韓中テレビ制作者フォーラム・韓国プサン大会」
2015年10月28日～31日に開催される第15回「日韓中テレビ制作者フォーラム・韓国プサン大会」に協力し、大会の成功に寄与します。



2015年度出版編集事業計画

1. 本年度は下記のメンバーで運営します（敬称略）。

委員長 飯田みか

副委員長 水島宏明 内藤圭介

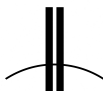
委員 氏家夏彦 木村幹夫 隈元信一 鈴木健司

田川義博 仲宇佐ゆり 西川博泰 藤田高弘

編集スタッフ 中島好登 福島美子 山本夏生

2. 毎月6日に『GALAC』を発行します。本年度の運営方針は以下のとおりです。

- 1) 番組、CMはもとより、制度や環境なども含む、放送に関わる事象全般を対象にした批評を通じて、放送文化の発展・向上に貢献する雑誌を目指します。
- 2) 特集・連載・選奨委員会のページの3本柱で構成し、放送コンテンツの作り手・送り手・受け手にアピールすることを目指します。
- 3) 激変する視聴実態やメディア環境を踏まえ、時代に応じた新しい企画を立て、書き手を発掘し、誌面の活性化を図ります。
- 4) 選奨事業委員会や企画事業委員会と連携し、イベント等と連動した誌面展開を考えます。また、委員会に属していない正会員に活躍の場を提供することを図ります。
- 5) 今期中に電子版の発行を目指します。紙と同じKADOKAWAを通してインターネット書店に卸し、新規購読者を獲得することで、紙と合計での増部数を目指します。
- 6) 記事提供を行なうポータルサイトやSNSなど、ネットの利用をさらに進め、一部の記事を拡散させることで雑誌の認知度を高めます。



2015年度選奨表彰事業計画

1. 2015年度は下記の委員構成で運営します。

選奨事業委員長 藤久ミネ

＜テレビ部門委員会＞

委員長 丹羽美之

副委員長 古川柳子

委員 出田幸彦 岩根彰子 太田省一 岡田芳枝
岡室美奈子 河野尚行 滝野俊一 藤久ミネ
水島宏明 宮崎美紀子

＜ラジオ部門委員会＞

委員長 橋本 隆

副委員長 茅原良平

委員 池本孝慈 鶴飼一喜 五井千鶴子 末田倫子
永須智之 中村亮平 松浦正和 三原 治
山本 索（1名増員予定）

＜CM部門委員会＞

委員長 稗田政憲

副委員長 碓井広義

委員 秋吉淳一郎 小川幸子 草川 衛 汲田亜紀子
千葉健吉 服部千恵子 桧山珠美 山家誠一
横川紀子 吉江一男 若尾一彦

＜報道活動部門委員会＞

委員長 鈴木嘉一

副委員長 山田健太

委員 稲塚秀孝 岩崎信道 小原道雄 河邑厚徳
田中早苗 谷岡理香 旗本浩二 福島俊彦
矢後政典 横山隆晴

選奨事業委員会担当事務局 福島美子

2. 第53回ギャラクシー賞（2015年度）の審査、ならびに贈賞式を行います。

3. 2015年度の運営方針は以下のとおりです。



今年度も昨年度（第52回ギャラクシー賞）と変わらず、各部門ともそれぞれに熱い討議を重ね、より公正にかつ緻密な選考を行う所存です。第52回では、4部門ともに例年通りの作品応募数に達し、なかでもラジオ部門、報道活動部門には前年を上回る応募をいただきました。これはテレビ部門入賞作「ニッポンの性教育」（中京テレビ放送）上映会やラジオ部門の「入賞作品を聴いて、語り合う会」「ギャラクシー賞受賞『報道活動』を見て、制作者と語る会」などを開催した成果かもしれません。本年度も受賞作品を媒介にして、制作者と視聴者をつないでいく試みを続けていきたいと思えます。

1) テレビ部門委員会の運営

①あらゆる科学・文化・芸術が活発な批評活動によって発展・向上してきたように、テレビ文化やテレビ・ジャーナリズムが発展・向上していくためには、テレビに対する活発な批評活動が必要不可欠です。テレビ部門委員会はそのような批評の創造・発信拠点となることを目指します。

②テレビ部門委員会は、毎月、月評会を開いて月間賞を選びます。また年2回（上期・下期）、各社各局からエントリーを受け付け、応募番組の選考を行います。最終的に、月間賞と応募番組の中から、年間のギャラクシー賞を選びます（大賞、優秀賞、選奨、奨励賞、特別賞、個人賞など。今年度から新たに「ネクストTV賞」〈仮〉を追加する予定）。

③上記の選考の過程や結果を贈賞式および『GALAC』誌上で発表します。この他、受賞番組を紹介する活動の一環として、制作者をゲストに招いた番組上映・討論会なども開催します。

2) ラジオ部門委員会の運営

新委員での後半の2年目です。前年度、新委員が加わったために古くて新しいこと、評価基準のこと、何を重要と考えるか等、議論が深化しました。その分議論は白熱しましたが良い傾向と考えています。慣れに陥ることなく真摯に公平に且つこれからのラジオがどのように進歩するべきかを模索する、提案する委員会としたいと思います。



それには、委員会委員がこれまでよりももっと積極的に全国各地のラジオ局の情報を探り、各局の努力を取材し、日本の東京の中心から目線ではなく、視野の広い批評活動を目指して行きたいと思います。

贈賞式でも、先日の回ほど参加各局の関係者から「どういう理由で…」と沢山訊かれたことはありませんでした。ギャラクシー賞の価値が認められたという要素とその結果としての選奨過程、その理由に以前より強い関心を待たれてきているという感触です。

この意味は大きいと思います。委員全員で緊張して心して活動していく覚悟です。

定例会はこれまでと変わらず月に1回開催し、各局の番組を2番組ずつ取り上げていきます。すぐには無理ですが、日本全国の放送局の番組の一つでも取り上げて、当会の批評活動を広める努力をします。時に激励し時には局の置かれている状況を考慮しながらアドバイスをし、制作者から信頼される批評活動をしていきたいと思っています。

『GALAC』誌には、その合評の審議内容を報告するとともに、今まで同様に「生ワイド」の紹介欄、魅力的なラジオ制作関係者の紹介を続けます。TOPICS欄も現時点では継続しますが、ラジオ界の変化に添って改革も同時に検討していきます。

ギャラクシー賞の選考は変わりません。当会の設立の趣旨を理解し胸に秘め、あらゆる束縛を受けず自由で自立した選考方針に立ち選考するといった先人の伝統を守りながら、変化にも対応する力をもって選考することを目指します。

「入賞作品を聴いて、語り合う会」は、昨年同様年2回優秀作品は全て聞くことを目指します。念願だった地方（東京以外の地）での開催を何としても開催し、放懇活動の地方への広がりを目指します。

3) CM部門委員会の運営

①広告の分野でテレビ広告費は依然として大きく、電通の調べによると昨年度のテレビ広告費は1兆9,564億円で前年度比102.8%でした。さらに地上波テレビCMの制作費は2,170億円で



前年比101.1%となっています。一方、テレビCMの表現においてはネットとの共存共栄を計算し創造した作品が目立つようになり、単に上流下流の関係ではない関係を築いているようです。CM委員会では、なお一層テレビ広告の役割を確認しつつ、クリエイティブ力のある作品、感銘をあたえる作品、時代をリードする作品を発掘していきたいと思っています。

②月1回の月例会は継続して行います。委員各々がリストアップした3本のテレビCMを多種多様にわたる視点から検討し、検討したCMの中からその月の話題のCMを選ぶことで、『GALAC』誌面になお一層の充実をもって反映できるようにしていきます。

③第52回ギャラクシー賞CM部門の応募数は24本増加しましたが、50周年時の応募数には戻っていません。応募増につながるよう広告の専門誌にギャラクシー賞受賞CMの記事が載るように努めます。

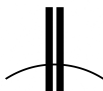
④シリーズ作品と長尺作品の応募が増加し、日常目にする単独の15秒や30秒のCM応募が少なくなっています。キレのある単独作品応募を期待するだけでなく、投票システムの改善とともに選考上で討議を多くすることなど審査改善への道を探ります。また他の広告賞との違いを出すことをあまり意識することなく、良いものをするおに選んでいきたいと思っています。

⑤課題として他部門委員会が行っている「見る会、聴く会」のCM版をどのようにするか of 具体的検討に入ります。

⑥今期はすべての委員が留任になりますが、広告への熱いおもいをもって活気ある委員会運営を継続いたします。

4) 報道活動部門委員会の運営

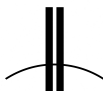
今年で13回目を迎えたギャラクシー賞報道活動部門は応募制を取っています。昨年度の応募本数は、上期・下期合わせて31本を数えました。30本を超えたのは11年ぶりで、上から3番目の本数です。NHK、民放キー局、民放ローカル局、独立テレビ局、BS、ケーブルテレビ、ラジオ局から寄せられました。多方面からの応募は歓迎すべきことです。今年度も『GALAC』の巻末に掲載されている選奨委員の持ち回りコラム「報道活動部門トピックス」で優れた報道活動を掘り起し、より多くの放送局に参加を促す



よう努めたいと考えています。

昨年11月、7回目の「ギャラクシー賞受賞『報道活動』を見て、制作者と語る会」をNHK放送博物館との共催で開きました。「地域の人々と現実はどう向き合うか」というテーマを設定し、6本の入賞作のうち大賞に輝いたNHK広島放送局の『『里山資本主義』の提言と報道活動』の制作者ら3人をゲストに招き、選奨委員も交えてトークを繰り広げました。これまでは都内の大学を会場にしてきましたが、初めて大学以外での開催となりました。参加者は70人を超え、幅広い層に及びました。

この成功を受けて、今年度も放送博物館での開催を予定しています。ただし、放送博物館は11月までリニューアル工事に入っているため、開催時期は例年より遅れる見通しです。

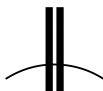


NPO放送批評懇談会

第11回通常総会 2015

2015年度企画開催事業計画

1. 放送の今日的課題をめぐるシンポジウム、セミナー・研究会などを企画・立案・実施します。
2. 本年度の企画事業委員会は、以下の委員で構成します。
委員長 川喜田 尚
副委員長 桜井聖子
委員 入江たのし 奥 律哉 堀木卓也 元橋圭哉
柳川素子
3. 従来の1年1回大型シンポジウムを企画開催するという方針を見直します。
小中規模なシンポジウム、勉強会などをタイムリーに開催する方向で検討します。
4. 基本方針案は以下の通りと致します。
 - ① 放送業界の活性化に貢献する。
 - ② 放送批評懇談会に相応しい質の高い企画を目指す。
 - ③ 他の委員会活動や月刊『GALAC』との連携を強化する。



2015年度マイベストTV賞

プロジェクト事業計画

1. 以下のメンバーで運営します。

プロジェクトリーダー 滝野俊一

メンバー

石橋さや夏 中平良磨 永田俊和

西川博泰 桧山珠美

事務局

中島好登

2. Web会員の登録者を増やすべく、関連サイトへの広報活動を強化します。たとえば番組の掲示板やファンサイトなどを積極的に利用し、マイベストTV賞を認知してもらうべく草の根的な活動を行います。

3. ツイッターだけでなくフェイスブックなどのソーシャルメディアを活用し、会員の募集活動や広報活動を積極的に行います。

4. 第10回「マイベストTV賞グランプリ」を決定し、第53回ギャラクシー賞贈賞式で表彰します。また、2013年にも実施した特別番組のように、毎月の候補作品に漏れていたレギュラー番組などを選考の対象に入れる試みも引き続き実施します。

5. 第11回をもって、賞の改革刷新を予定します。これは新設される準会員（仮称）制度と連動したものとして推進し、賞のシステム全体を再構築します。サービス内容や運用方法を検討して、システム設計を開始します。

第五号議案

放送批評懇談会

2015 年度予算

2015年度予算案

2015年4月1日～2016年3月31日まで（単位：円）

科目	決算額	2015予算	摘要
I. 収入の部			
1. 会費等収入			
会費収入	3,198,453	2,940,000	正会員会費
維持会費収入	42,025,000	42,000,000	維持会員会費
2. 事業収入			
選奨表彰事業収入	30,048,260	30,860,000	参加料, 贈賞式会費,
企画開催事業収入	1,681,000	1,400,000	シンポジウム参加料
周年事業収入	100,000		
3. その他の収入			
出版編集事業収入	3,567,584	4,000,000	GALAC販売
広告料収入	5,236,400	5,300,000	GALAC広告
4. 雑収入			
資産売却収入	4,865		
受取利息	186,833		
当期収入合計	86,048,395	86,500,000	前年比100.5%
II. 支出の部			
1. 事業費			
選奨費	7,922,671	8,000,000	委員会運営, 見る聞く会, レプリカ
式典費	10,163,514	10,200,000	ギャラクシー賞贈賞式開催費
企画開催費	2,035,691	1,200,000	委員会運営, 実施経費経費
原稿料	6,580,973	6,800,000	GALAC原稿料
編集費	5,084,465	5,000,000	GALAC編集費, 委員会運営
雑誌印刷費	16,729,524	16,700,000	GALAC印刷費
発送費	1,686,118	1,700,000	GALAC発送費
2. 管理費			
給料手当	14,341,800	14,500,000	職員給与
人件費	5,343,937	7,000,000	契約職員, 臨時職員経費
法定福利費	2,272,243	2,400,000	社会保険など
福利厚生費	109,770	150,000	作業従事者の夜間飲食費など
旅費交通費	829,721	900,000	職員通勤費・交通費, 役員交通費
通信費	783,731	800,000	郵便, 宅配便, 電話, ネット
資料費	845,640	350,000	スパイダー, 新聞, 雑誌, 書籍
会議費	341,261	350,000	理事会, プロジェクトの会議費用
水道光熱費	347,724	350,000	水道代, 電気代
事務用品費	89,775	100,000	事務用品, PC周辺機器
消耗品費	365,831	400,000	コピー機使用料, 日用品
備品費	455,977	810,000	テレビ, DVD, 音響機器, PC
諸印刷費	222,345	600,000	会員名簿, 封筒, 名刺など
広報費	1,211,882	1,000,000	ホームページ, データベース, 広報, 日韓中
支払手数料	199,301	240,000	振込手数料, 更新手数料
賃借料	3,999,273	4,100,000	事務所賃借, コピー機レンタル
保険料	489,700	520,000	保険（退職金補填）, 火災保険
交際費	177,588	200,000	冠婚葬祭, 中元, 歳暮
雑費	875,970	900,000	税理士, 社労士, NHK, WOWOW, JCOM
諸会費	139,644	150,000	友好団体会費
租税公課	74,000	80,000	法人都民税, 消費税, 収入印紙
退職給付引当金繰入	1,000,000	1,000,000	毎年100万円の積み立て
予備費	0	0	予備の予算
当期支出合計	84,720,069	86,500,000	前年比102.1%

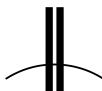
特別会計 ２０１５年度予算案
2015年4月1日～2016年3月31日まで（単位：円）

科目	2015予算	適用
I. 収入の部		
志賀基金取崩益	10,000,000	
当期収入合計	10,000,000	
II. 支出の部		
マイベストTV賞刷新	5,000,000	運営サイトの刷新、会員管理システムの一新 エントリーのデジタル化のシステム構築
ギャラクシー賞エントリーデジタル化	5,000,000	
当期支出合計	10,000,000	

第六号議案

放送批評懇談会

定款変更



放送批評懇談会 定款変更

特定非営利活動法人放送批評懇談会の定款の一部を次のように変更することについての総会の議決を求めます。なお、定款変更については、現行定款において「総会において、会員の4分の3以上の議決を経、所轄庁の認証を得なければならない」と規定されることから、本日の総会議決をもって今後、所轄庁の東京都への承認手続きを行います。

(拋出金品の不返還)

第12条

既に納入した入会金、会費その他の拋出金は返還しない。



既に納入した入会金、会費は返還しない。

(任期等)

第16条

役員の任期は、2年とする。ただし、再任を妨げない。

2 補欠のため、又は増員により就任した役員の任期は、それぞれの前任者又は現任者の任期の残存期間とする。

3 役員は、辞任又は任期満了においても、後任者が就任するまでは、その職務を行わなければならない。



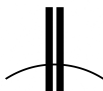
役員の任期は、選任後2年以内に終了する事業年度のうち最終のものに関する通常総会の終結の時までとする。但し、再選を妨げない。

2 補欠のため、又は増員によって就任した役員の任期は、それぞれの前任者又は現任者の任期の残存期間とする。

3 第1項および第2項の規定にかかわらず、後任の役員が選任されていない場合には、任期の末日後最初の総会が終結の時までその任期を伸長する。

(総会の権能)

第24条



- (1) 事業計画と収支予算の決定および変更
- (2) 事業報告と収支決算
- (8) 借入金（その事業年度内の収入をもって償還する短期借入金を除く。第51条において同じ）



- (1) 事業計画と予算の決定および変更
- (2) 事業報告と決算
- (8) 借入金（その事業年度内の収益をもって償還する短期借入金を除く。第50条において同じ）

（資産の構成）

第40条

- (4) 財産から生じる収入
- (5) 事業に伴う収入
- (6) その他の収入



- (4) 財産から生じる収益
- (5) 事業に伴う収益
- (6) その他の収益

（事業計画及び予算）

第46条

この法人の事業計画及びこれに伴う収支予算は、毎事業年度ごとに理事長が作成し、総会の議決を経なければならない。



この法人の事業計画及びこれに伴う予算は、毎事業年度ごとに理事長が作成し、総会の議決を経なければならない。

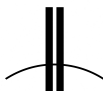
（暫定予算）

第47条

前条の規定にかかわらず、やむを得ない理由により予算が成立しないときは、理事長は、理事会の議決を経て、予算成立の日まで前事業年度の予算に準じ収入支出することができる。

2 前項の収入支出は、新たに成立した予算の収入支出とみなす。





前条の規定にかかわらず、やむを得ない理由により予算が成立しないときは、理事長は、理事会の議決を経て、予算成立の日まで前事業年度の予算に準じ収益費用を講じることができる。

2 前項の収益費用は、新たに成立した予算の収益費用とみなす。

(予備費)

第48条

予算超過又は予算外の支出に充てるため、予算中に予備費を設けることができる。

2 予備費を使用するときは、理事会の議決を経なければならない。



(予備費)は全削除

第49条以降、ひとつずつ繰上げ

(事業報告及び決算)

第50条

この法人の事業報告書、財産目録、貸借対照表及び収支計算書等決算に関する書類は、毎事業年度終了後、速やかに理事長が作成し、監事の監査を受け、総会の議決を経なければならない。



第49条

この法人の事業報告書、活動計算書、貸借対照表及び財産目録等決算に関する書類は、毎事業年度終了後、速やかに理事長が作成し、監事の監査を受け、総会の議決を経なければならない。

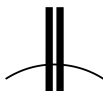
(定款の変更)

第51条

この法人が定款を変更しようとするときは、総会に出席した正会員の4分の3以上の多数による議決を経、かつ、法第25条第3項に既定する軽微な事項を除いて所轄庁の認証を得なければならない。



この法人が定款を変更しようとするときは、総会に出席した正会員の4分の3以上の多数による議決を経、かつ、特定非営利活動促進法第25条第3項に既定する事項については、所轄庁の認証を得



なければならない。

2 この法人の定款を変更（前項の規定により所轄庁の認証を得なければならない事項を除く。）したときは、所轄庁に届け出なければならない。

（解散）

第52条

（5）破産

↓

（5）破産手続開始の決定

（残余財産の帰属）

第53条

この法人が解散（合併又は破産による解散を除く。）したときに残存する財産は、法第11条第3項に掲げる者のうち、総会において議決した他の特定非営利活動法人に譲渡するものとする。

↓

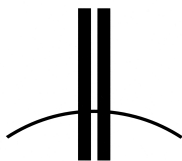
この法人が解散（合併又は破産手続開始の決定による解散を除く。）したときに残存する財産は、特定非営利活動促進法第11条第3項に掲げる者のうち、総会において議決した他の特定非営利活動法人に譲渡するものとする。

附 則

7 この定款の変更は2015年6月21日から施行する。

（注）

- ・明朝体は改定前の条文
- ・ゴシック体は改定後の条文
- ・アンダーラインは削除、または変更部分
- ・網掛け部分は加筆、または変更部分
- ・斜体は会の実態に適合させるための変更。それ以外はNPO法改正による変更



NPO／特定非営利活動法人

放送批評懇談会

〒160-0022 東京都新宿区新宿 5-10-14 中村ビル 2F

Tel. 03-5379-5521 Fax. 03-5379-5510

kondankai@houkon.jp <http://www.houkon.jp/>